

チャリティーオークション企画

Will you marry me? ゼクシ編集部とヤフオク!が全力プロデュース

世界でたった1つのプロポーズ

完全密着レポート

ゼクシはプロポーズには「幸せのチカラ」があると信じています。伝えて、受け取って、そして涙と笑顔が連なる最高に幸せなワンシーン。この先、ふたりに何があっても、プロポーズされたとき、したときのときめきを支えに、人々が強くなる大事な瞬間だとゼクシは考えています。プロポーズの持つ「幸せのチカラ」が日本をもっとハッピーにできると信じて、プロポーズプランをヤフオク!チャリティーオークションに出品致しました。プランを落札してくれた方とプロポーズをつくり上げる約3週間。

「世界でたった1つのプロポーズ」が出来上がるまでの裏側と当日のプロポーズを完全密着レポート!



トータルサポートプロポーズプラン

オークション期間
7/23~7/29

ゼクシ編集部がおふたりのエピソードをもとに、プロポーズをゼロからつくり上げていくプラン。馴れ初めや、おふたりの思い出の場所、お相手が好きなものなど、おふたりならではのエピソードをお伺いし、オリジナルのプロポーズプランを企画、当日の演出までをサポート。

「最愛のお相手へのプロポーズプランを落札したのは……!」



川筋仁史さん (25)

彼女にとって、プロポーズが一生涯の思い出になるものにして、思い切って入札することにしました。落札が決まった瞬間は、「まさか!」と思ったけど、すごく嬉しかったです。



砂浜映画館プロポーズプラン

オークション期間
7/30~8/5

夜の砂浜に、ふたりのためだけにプライベートシアターを設置し、ゼクシ編集部監修のオリジナルムービーを制作、上映できるプラン。プロポーズにふさわしいロマンチックな夏の夜になるよう、映像制作から当日の演出に至るまで、サポート。

「最愛のお相手へのプロポーズプランを落札したのは……!」



鶴川勇翔さん (28)

彼女が海が大好きなので、このプロポーズプランを見つけた時は、「絶対に落札したい!」という気持ちでした。プロの方にお手伝い頂けるのも魅力的で、落札できて本当に良かったです。



チャリティーオークション企画に協力してくださった皆さま

会場装飾/ テイクアンドキウ・ニュース フラワー&スペースデザイナー 原 奈兎子 スタイルング/ 松本絵里 ヘアメイク/ 上杉光美 衣裳協力/ キャンティードレス&ビューティー、ザランウェイ、ドレスティーク、マイクロゼット、ユナイテッドアローズ 原宿本店 メンズ館、EASE、TOCCA jewel 会場協力/ ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル、ハッスル株式会社 映像協力/ 株式会社グランツ

← 次ページより、プロポーズの舞台裏を完全密着レポート!



最愛の人へ最大限の愛伝える、横浜ロマンチックプロポーズ

画面を撮るプロポーズの準備

2015.9.4
写真セレクト



プロポーズ当日に使用する、ふたりの思い出写真をセレクト。6年半分の約2000枚の中から200枚に。

2015.9.3
衣装選び



スタイリストと当日のスーツの衣装選びへ。真摯な想いを伝えるべく、ブラックなフォーマルスーツに決定。

2015.8.16
プロポーズ提案



おふたりのこれまでのストーリーをもとに彼女に喜んでいただけそうなプロポーズプランを提案。

2015.8.2
初回打ち合わせ



片道2時間半かけて編集部での打ち合わせ。馴れ初めから今に至るまでお話しする川筋さん。

落札からプロポーズまで

まるで映画の主人公のように、サプライズが続く夢のような時間

ふたりの思い出の地・横浜を舞台にプロポーズ大作戦はスタート。横浜でデートを楽しんでいたが、急に彼がいなくなり、「白いリムジンに乗ってね」との手紙が……。彼女を待っていたのは、彼女を最高に可愛くするビューティチームだった。普段は着ないような赤いドレスに身を包み、いつも以上に可愛くなった彼女を横浜の夜景が一望できる倉庫の屋上へ。彼女の憧れだった記入済みのピンクの婚姻届とともに、最愛の人へ想い伝えたロマンチックプロポーズ。

彼が席を立ったと思いきや、店員さんから彼からの手紙が渡される。



16:15pm



16:00pm

2015.9.6
Sun

いつも通りデートを楽しむふたり。彼女は何も気付いていない様子。

16:30pm



「白いリムジンに乗ってね」の手紙を見て外に出ると、カフェの前にはお迎えのリムジンが。



17:00pm

ホテルのスイートルームにはスタイリストが20着のドレスを用意。彼女に似合う一着をセレクト。



17:15pm

メイクアップアーティストによるヘアメイク。普段はあまりしないアップスタイルで特別感を。



【落札者】川筋仁史さん (25)

【プロポーズのお相手】順子さん (25)

富山県出身のふたり。大学時代の映画館のアルバイトがふたりの出会いのきっかけ。バイト先で仕事にひたむきに取り組む一生懸命な姿に次第に惹かれて、交際に発展。交際半年で、順子さんが東京へ行くことになり遠距離恋愛に。入籍時にピンクの婚姻届を提出するのが順子さんの憧れ。



『こんなに大好きになって、遠く離れていても、こんなにも自分のことを幸せにしてくれる人は絶対によりしかいません。一生大切に作るから、僕と結婚してください。』

19:00pm

プロポーズの言葉とともに、ひざまずき彼女にプロポーズ。彼女は目に涙を浮かべながら「お願いします」とお返事。ふたりのためだけに作られた屋上のスイートなガゼボがプロポーズをロマンチックに演出。川筋さん記入済みのピンクの婚姻届も彼女に渡して。



18:30pm

3年間分の写真をハート型に彼女の友人と飾り付け。風船のひもには川筋さん手書きのメッセージも添えられて。

19:10pm



富山からも友人が駆けつけ、驚きと嬉しさで思わず涙する順子さん。

プロポーズを終えてみて



たくさんの方々のおかげで、夢のような時間を過ごすことができたことは、かけがえない一生の宝物です。プロポーズの後、彼女のご両親にご挨拶することとなり、快く結婚の承諾を頂くことができました。今後も彼女を大切に支え続け、彼女のご両親のような、いつまでも仲の良い素敵な夫婦になれるようふたりで協力していきます。(仁史さん)

お互い仕事も忙しく、遠距離恋愛ということもあって、結婚は難しいと思っていたので、まさかのサプライズプロポーズでした！普段こんなサプライズをする人じゃないから、プロポーズされたときは、こんな一面もあるんだと惚れ直しました。私をこんな幸せな気持ちにさせてくれる人は彼しかいないです。(順子さん)